

TXL 法律事務所

Always On Your Side

私たちは、お客様を含む全ての関係者の皆様に寄り添い、長期的に信頼頂ける事務所の確立を目指しています。

異なる大手事務所にルーツを持つ 2つの事務所が統合

TXL 法律事務所は、高井伸太郎弁護士 (51 期) を代表とする高井 & パートナース法律事務所と、大宮立弁護士 (56 期) を代表とするレックス法律事務所が経営統合し、2024 年 7 月にスタートした、主に企業法務を取り扱う法律事務所です。

当事務所の共同代表である高井伸太郎弁護士は、長島・大野・常松法律事務所で 17 年の研鑽を積み (うち 9 年はパートナーとして業務に従事し)、2016 年に高井 & パートナース法律事務所を設立しました。

同じく共同代表である大宮立弁護士は、森・濱田松本法律事務所で 9 年の研鑽を積み、その後 6 年間、企業法務を専門とする法律事務所共同パートナーを務めた後、2018 年にレックス法律事務所を設立しました。



TXL の名前の由来

当事務所は、単に 2 つの事務所が一緒になる「足し算」ではなく、それぞれの力を掛け合わせる「掛け算」で相乗効果を高め、より良いサービスを提供したいという気持ちを込めて、高井 & パートナース法律事務所頭文字である「T」と、レックス法律事務所頭文字である「L」を掛け合わせる (X) ことを示す「TXL」(ティーエックスエル) を事務所名としました。

統合により企業法務における 幅広い専門分野を網羅

経営統合前の両事務所は、共に企業法務を取り扱う点で共通していましたが、高井 & パートナース法律事務所は M&A やクロスボーダー取引を、レックス法律事務所は事業再生や複雑な訴訟・紛争解決を得意分野とするなど、それぞれが異なる強みを持っていました。

今回、TXL 法律事務所として経営を統合したことにより、大手法律事務所出身者、人事労務系ブティック法律事務所出身者、裁判官出身者、海外の法律事務所勤務経験者、インハウス弁護士経験者、弁護士過疎地域の公設法律事務所勤務経験者、弁理士登録している弁護士、預金保険機構勤務経験者、銀行勤務経験者など、多種多様なバックグ



ラウンドを有する弁護士が 1 つのチームとなり、知識及びノウハウの共有をし、法人設立から上場、更には事業再編や清算に至るまで、お客様のライフステージのあらゆる状況において、常に最良のリーガルサービスを提供することが可能となりました。

企業法務分野における幅広い実績

当事務所の業務の 8 割から 9 割は企業法務であり、企業法務分野においては、幅広い実績があります。

M&A の分野においては、取引金額が 1000 億円を超えるような大型案件や上場会社の TOB 案件のようなものから中小企業の事業承継案件まで幅広く対応しています。クロスボーダー取引にあたっては、海外企業との取引及びトラブルへの助言に加えて、海外への新規進出又は撤退など海外事業展開についても各国の法律事務所とのネットワークを生かして対応しています。

人事・労務の分野においては、各種規程の整備から日常的に生じる労務問題、個別労使紛争への

対応など、企業が直面するあらゆる人事労務問題に対応しています。

また、事業再生の分野においては、約 20 年前から、金融機関だけを相手方とする債務整理である「私的整理」における経験・実績を積み重ね、現在では、関東近郊のみならず、北は北海道から南は九州地方に至るまで、全国各地の中堅・中小企業の事業再生に取り組んでいます。

TXL が目指す事務所の在り方 —Always On Your Side

(1) お客様にとっての Always On Your Side

私たちは、新しい事務所設立にあたり、事務所が尊重すべき共通の価値観について議論を重ね、「Always On Your Side」を事務所にキーワードとすることを決めました。

このキーワードは、まず第一に、お客様の様々なライフステージにおいて、常に相談できる存在であることを意味します。創業者が起業をする局面、資金を調達する局面、成長し上場を目指す局面において。また万が一、紛争に巻き込まれ、又は、経営不振に陥った局面においてさえ、常に

お客様をサポートできるよう、あらゆる業務分野を網羅し、お客様を支え続けられる体制作りを心掛けています。

また、このキーワードは、お客様から見たときに、常に一定のパフォーマンスを維持し続けられる組織であることも意味します。弁護士の仕事は、職人の仕事に例えられることも多く、とすると、個人の力量に依存しがちな職種と言えます。しかし、技術・ノウハウの共有・伝承がなされず、個人の力量に頼り続けてしまうと、いずれ組織は衰退し、お客様に満足頂けるリーガルサービスを提供することが出来なくなる恐れがあります。私たちは、常にお客様のそばで一定のパフォーマンスを維持し続けられる存在になることを目指し、個人個人の技術・ノウハウの研鑽を続けるのみならず、その共有・伝承にも努めたいと考えています。

そのためには、組織における人材の配置・バランスについても、慎重な配慮が必要であると考えています。世代間のバランスを考えたときに、「頭でっかち」な組織では、技術・ノウハウの十分な共有・伝承はできません。他方において、ピラミッド型の構造も、教育が不十分となる恐れがあるの

みならず、常に事業規模を拡大し続けることが前提となっている点で、法律事務所として健全とは言えないと感じます。トラブルの解決が弁護士の重要な仕事の1つだとすれば、ピラミッド型で人員が増え続ける法律事務所と言うのは、トラブルが年々増加する世の中を前提としているように見えますが、そのような世の中は、我々が望む未来ではありません。

そう考えますと、お客様にとって Always On Your Side と言える事務所は、各世代に均等に弁護士が配置されている、円柱型の組織であると考えています。

(2) チームメンバーにとっての Always On Your Side

「Always On Your Side」のキーワードは、チームメンバーにとっても妥当します。

法律事務所でも最も重要な経営資源は、言うまでもなく「人財」です。

私たちは、事務所で働く全てのメンバーが、どのようなライフステージにおいても、働きやすいと思える環境の整備を目指しています。

全ての時間を自分のために費やすことができる人もいれば、家庭や家族のための時間が必要な人まで、私たちの1日のスケジュールは、それぞれのライフステージによって様々です。また、生活や趣味の場所も、お客様の拠点も、今やグローバルに広がっています。

私たちは、「時間」の面でも「空間」の面でも、それぞれのメンバーが最も効率よく能力を引き出せる環境を整備することを目指しています。

ペーパーレス化を進め、固定電話を廃止することにより、「オフィスに来なければ得られない情報」をなるべく減らすこと（これはエコにも繋がります）、お客様との会議にウェブ会議を積極的に導入すること（これにより利用頻度の低い会議用スペースを減らすことができます）など。いずれも新型コロナウイルスの感染拡大により、世の中に浸透してきた働き方ですが、私たちは新型コロナウイルスの感染拡大以前から、このような取組みを積極的に推進して来ました。

現在、当事務所は、旧高井&パートナーズ法律事務所があった「赤坂」と、旧レックス法律事務所があった「紀尾井坂」の2カ所にオフィスを

構えていますが、オフィスに行くことができない場合、例えば地方に在住していても、海外に在住していても、支障なく業務を遂行できる体制が構築できていると考えています。

このような取組みを進めることにより、全国各地、更には海外にいらっしゃるお客様に対しても、ストレスなくパフォーマンスを発揮することができるようになると思います。また、コストやリスクを増やすことなく、世界中にいる有能な「人財」にメンバーに加わってもらうこともできると信じています。

リーガルテックとの共生について

弁護士業界では、最近、リーガルテックが話題にのぼることが増えています。それほど遠くない将来、我々の仕事の一部は、AIによって代替されることでしょうか。法令検索、判例検索などの検索業務は、私たち人間が行うよりも早く、かつ正確に、AIが答えを出してくれるに違いありません。契約書作成作業においても、AIが能力を発揮できる場面は少なくないでしょう。

しかし、既にある答えを見つけ出すことだけが、我々の仕事ではありません。法令や判例にない、新しい論点について見解を求められることもあれば、明らかに法令や判例に反しているけれど、倫理やモラルのレベルで、社会に問題提起しなければならない局面も少なからず存在します。また、依頼を受けるお客様が血の通った人間である以上、お客様の苦悩に寄り添い、喜怒哀楽を共にすることも必要です。そして、それらの側面は、AIで簡単に代替することができない、公式に当てはめられない、きわめて「人間くさい」仕事だと言えます。

そもそも私たちが取り扱う「法」は、社会のルールですから、世の中に暮らす全ての人々がルールを理解し、自ら運用できる社会こそが、理想の社会と言えます。野球やサッカーの選手で、ゲームのルールを知らない人がいないのと同じように。

わざわざお金を払わなければ、自分が生きる世の中のルールを教えてもらえない社会というのは、「不完全」と言わざるを得ません。

ですから、リーガルテックの進化・発展は、「誰

もが自分に適用されるルールを理解できる環境」の整備に繋がるものとして、歓迎すべきです。

私たちは、積極的にリーガルテックとの共生を図り、AIの得意分野は積極的にAIに任せ、我々が得意とする「公式に当てはめられない」「人間くさい」仕事に、より注力していくべきと考えています。

そして、そんな仕事を行ってこそ、エキサイティングで達成感があり、お客様に心から満足して頂けることも実感しています。

TXL

TXL 法律事務所

弁護士数:13名(2024年11月末現在)
代表弁護士:高井伸太郎(第一東京弁護士会)、大宮 立(東京弁護士会)

(赤坂オフィス(主たる事務所))
〒107-0052
東京都港区赤坂
二丁目23番1号
アークヒルズフロントタワー
RoP 9階



(紀尾井坂オフィス)
〒102-0083
東京都千代田区麹町4-3-29
VORT紀尾井坂6階



TEL:赤坂オフィス(主たる事務所)
03-4577-8686(代表)
紀尾井坂オフィス
03-6205-7315(代表)
URL:https://txl.jp

当事務所は、企業法務を中心とし、それぞれの取扱分野で豊富な経験を持つ弁護士で構成されており、お互いに協力し合いながら、お客様に対し最適な解決策を提案し、事務所全体として最高のパフォーマンスを発揮できるよう、日々研鑽しています。私たちは、人員の採用、教育を重視することはもちろん、各弁護士が担当している案件に関する日常的な意見交換、案件の処理内容やリサーチ結果を共有することなどを通じて、組織力を高め、組織としての持続性を確保することによって、私たちを信頼して下さるお客様に対し、長期にわたり安定的に最良のサービスを提供し続けることを目指しています。

お問い合わせ先

TEL:03-4577-8686(代表) 赤坂オフィス(主たる事務所)
TEL:03-6205-7315(代表) 紀尾井坂オフィス

